



KAHF ニュースレター

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町 2-2 京都市国際交流会館 3 階

財団法人 京都国際文化協会内

京都ホストファミリー協会 (KAHF)

No.18

2019 年 3 月発行

2019 年度 行事予定

4 月 28 日 (日)

ウェルカムパーティー

5 月

春のハイキング

6 月

料理教室

10 月

大原バーベキューパーティー

11 月

秋のハイキング

2020 年 1 月 19 日 (日)

新春親睦パーティー

2 月

凧揚げ大会

3 月

総会・会員の集い

平成も、まもなく終わり新元号に移ります。KAHF 設立後 35 年。昭和生まれの KAHF も、3 つ目の元号を迎えることとなり、歴史の重みが出てきました。KAHF 設立後、受け入れた留学生の総数は、2,000 人を上回ります。大きな資産です。いろいろな分野で活躍していることでしょう。

★

KAHF の活動のことを友人・知人に話しますと、第一の反応は「どこかが補助金出してくれてるの?」という質問です。「全て会員の自己負担です」と答えると、ほとんどの人が驚きます。「どうして、そこまで犠牲を払ってするの?」と驚く人、「貴重なボランティア」と高く評価する人と色々です。現在 ボランティアファミリーは、100 家族おられ、その人達に支えられて、KAHF は存在しています。

★

米国大統領トランプ氏の出現以降「〇〇ファースト」と臆面もなく主張する政治家が増えてきました。国際間だけでなく、国の内部でも「〇〇ファースト」を主張する人が急増しています。この人たちの特徴は、「人の意見には耳を貸さない」「意見の違う人とは共存しない。」ということです。その結果、「国際間や国内での軋轢」が増してきております。日本もある日突然矛先を突き付けられかもしれません。

★

KAHF の最大の成果は、主義主張を超えた「人の絆」です。この絆が 色々な人間の共存の土台です。何時の日にか KAHF の同窓会が各国に出来るかもしれません。各国に KAHF と同じような組織が生まれ、そこに学ぶ留学生との絆をつくり広がっていけば、KAHF の先見性も増してくることでしょう。(桑原節雄)

平素、KAHF の活動にご尽力頂き、有難うございます。お陰様で、2018 年度もいろいろな行事や個々の付き合いを通して、留学生との交流を深めることができました。今年度の活動をまとめたニュースレターを作成しましたので、どうぞお受け取り下さい。なお、ニュースレターはホームページでもご覧いただけます。行事予告などはホームページやフェースブックでも行っています。

ホームページ URL : <http://kahf.web.fc2.com/>

フェースブック グループ名 : KAHF (Kyoto Association of Host Families)

2018年度会務報告

2018年度に62名の新しい留学生(No. 2044~2105)を受け入れて、HFとB/S会員をマッチングしました。

2018年度に新たに7名のHF会員(No. 481~487)の入会がありました。よろしくお願ひします。また、10名の会員が退会されました。これまでのご協力に感謝します。この結果、現在活動中のHF会員は98ファミリーとなりました。

2013年度に発足した新しいHF活動であるBrother/Sister(B/S)プロジェクトへ2018年度に10名のB/S会員(J-056~J-065)が新たに登録されました。B/S会員は卒業・就職などで自然退会も多く、現在の活動会員は約25名です。

KAHFの活動は、HFおよびB/S会員の留学生との1:1の交流が中心ですが、2018年度の共通行事として以下を実施しました。留学生、ファミリー、B/S会員間の和気あいの交流ができました。

- 1) 総会・会員の集い(2018.3.18(日)、レストラン・ラ・シゴニーユ)
- 2) ウェルカムパーティー(2018.4.15(日)、京都大学生協吉田食堂)
- 3) ポットラックパーティー(2018.5.19(日)、京都市左京西部いきいきセンター)
- 4) 初夏のハイキング(2017.5.27(日)、伏見方面)
- 5) 料理教室(2018.6.24(日)、ウイングス京都)
- 6) サントリービール工場見学(2018.9.17(日)、大山崎)
- 7) 下鴨神社名月管弦祭(2018.9.24(日)、下鴨神社)
- 8) 京都サンガ観戦(2018.10.20(日)、西京極スタジアム)
- 9) 大原バーベキューパーティー(2018.11.11(日)、龍池財団大原郊外学舎)
- 10) 秋のハイキング(2018.12.2(日)、抹茶体験と宇治川散策)
- 11) 新春親睦パーティー(2019.1.13(日)、京都市国際交流会館)
- 12) 凧揚げ大会(2019.3.3(日)、京都市左京西部市民いきいきセンター、鴨川公園)

行事報告 2018年3月 ~ 2019年3月

総会・会員の集い 2018年3月18日(日) 11:30-15:00

本年度の総会・会員の集いは岡崎のレストラン ラ・シゴニーユで開催しました。出席者は27名でした。まず、2017年度の会務報告および会計報告の後、議題の運営費(今後会費とする)値上げ(1,000円→2,000円)が了承されました。昼食をとり、その後B/S会員の土村萌さんから「サモアでの生活と研究」という題での話題提供がありました。土村さんは京都大学大学院修士1年生で、サモアでの研修の経験を話していただきました。会員の皆さんの好奇心旺盛な質疑応答で時間が経つのを忘れました。



ウェルカムパーティー 2018年4月15日(日) 14:00～

毎年恒例のウェルカムパーティーを京都大学生協吉田食堂1Fで開催しました。前夜から降っていた雨も止み、出足の悪かった留学生の参加も例年と同様になり、最終的な参加者はファミリー:37名、B/S:2名、留学生:56名、合計95名でした。ケーキ、サンドイッチ、それと飲み物を囲んで盛り上がり、最後にくじ引き(殆ど留学生全員と子供にいいもの?が当たった!)とミニバザーで締めくくりました。このパーティーを契機として新しい留学生:約25名がKAHFへの登録をしてくれました。



ポットラックパーティー 2018年5月19日(土) 11:00～

場所:京都市左京区西部いきいき市民活動センター

B/S会員主催の、Potluck Party(持ち寄りパーティー)を開催しました。最終的な参加者はHF:10名、B/S会員:5名、留学生:12名、合計:27名でした。11時に集合して、簡単な自己紹介の後、それぞれが持ち寄った食べ物が机の上に並べられました。カラアゲ、肉じゃが、卵焼き、巻き寿司、おにぎり、サンドイッチなどの日本人提供の料理のほか、インド、インドネシア、スリランカ、韓国、ブルネイからの留学生が作ってきたごちそうが並び、賑やかな交流が進みました。このPotluck Partyは手軽で、お腹も喜ぶなかなか楽しい企画であり、ゲームや運動などと組み合わせばみんなの楽しめるものになると思いました。



初夏のウォーキング 2018年5月27日(日) 13:00～

曇ってはいましたが雨の心配は無く、1時過ぎに京阪中書島駅北口を留学生、B/S、ファミリー約40名で出発しました。

坂本竜馬の寺田屋から幾つかの酒蔵を眺め、川に浮かぶ十石舟に手を振ったり、緑豊かな川沿いを列を作るでもなくそれぞれがおしゃべりを楽しみながらの道中でした。

中書島駅に3時過ぎに着いて、京阪電車で帰る人と、月桂冠大倉記念館へ見学される方に分かれて今回のウォーキングを終えました。



料理教室 2018年6月24日(日) 13:00~16:00

場所：ウィングス京都2F 調理室

ファミリーの榎村さんの指導、お嬢様が通訳で、手際良く鯖の味噌煮、かきたま汁、小鉢二品を作りました。出席者は、ファミリー大人9名、子供2人、留学生10人(イギリス、台湾、タイほか)。

ドタキャンもありましたが、留学生は、とても喜んでくれ、「又ありますか？ 講師、ファミリーがとても親切に教えてくれた。初めて自分で和食を作って楽しかった」というようなコメントをくれました。

参加していただいたファミリーの皆様、講師の榎村様ありがとうございました。



サントリービール工場見学会 2018年9月17日(月) 13:45~16:00

場所：長岡京市 サントリー京都ブルワリー

曇り空ながら気持ちの良い日に恵まれ、阪急西山天王山駅に集合したメンバーと JR 長岡京駅からバスで着いた、留学生9名とお子さんを含む9名のファミリー計18名で見学しました。

ガイドさんの熱心な説明で原料の大麦、ホップから壺詰めに至る工程を興味深く見て回り、最後に出来立てのビール3種類やノンアルコールビール等を試飲して楽しいひとときを過ごしました。

工場見学の後、帰途につく人と恵解山古墳(いけのやまこふん)に行く人に別れて散会しました。



下鴨神社名月管弦祭 (中秋の名月) 2018年9月24日(月) 16:00~

場所：左京西部いきいき市民活動センターおよび下鴨神社

中秋の名月(今年度は9月24日)の日に、下鴨神社の名月管弦祭に参加しました。先ず16:00に左京西部いきいき市民活動センターに集合して交流会。参加者はHF11名、B/S1名、留学生12名、合計24名でした。メンバー持参の月見団子や軽い食事、菓子をいただき、自己紹介も含めて話が弾みました。6時前に出発して下鴨神社へ徒歩で移動しました。直接現地に来られたメンバーも合流し、かがり火に照らされた境内で、尺八、管絃、舞楽などを楽しみました。残念ながら曇りで、満月は姿を見せてくれませんでした。幽玄の世界を楽しみました。



京都サンガ観戦 2018年10月20日(土) 13:30~

KAHFとして初めて京都サンガF.C.のサッカー試合を観戦する企画を立てました。この日の相手はアルビレックス新潟で、13:30に西京極スタジアムのサンガアーチ前に集合しました。参加したのはHF3名、留学生1名と少なかったですが、試合開始前に色々な食物やイベントを楽しみました。ゲームは15:00開始で、前半は一進一退の白熱した戦いで0-0で終わりました。日が陰ってきて寒くなってきたので帰宅しましたが、最終結果は0-2で負けたとのことでした。



2018年 大原バーベキューパーティー 2018年11月11日(日) 11:00~14:00頃

場所：龍池財団大原郊外学舎

好天に恵まれて、恒例のBBQパーティーを実施しました。参加者は、ファミリー23名、留学生28名、BS会員4名、子供4名の計59名でした。BBQのほか、野菜カレー、サラダ、果物、おしるこなど、食べ物はふんだんにあり、最後は恒例のゲームで汗を流し、楽しく一日を過ごしました。参加された皆さん、お疲れ様でした。



秋のハイキング：抹茶体験と宇治川散策 2018年12月2日（日）13:00～16:00

素晴らしい晴天に恵まれ、紅葉もまさに見頃！楽しいハイキングになりました。参加者は、留学生14名、ファミリー19名（子供2名含む）でした。

午後1:00京阪宇治駅に集合、観光客で賑わう中を対鳳菴へ。先ず留学生中心のグループ15名が茶室へ入り、他のメンバーは福寿園のコーナーを借りて、お茶の歴史について説明を受けました。次にグループ交代。

午後2:30ガイドさん2名と共に散策開始。訓練中の鶴を見学して、興聖寺、宇治上神社、源氏物語ミュージアム迄のんびり歩きました。途中あちこちで紅葉のトンネルの下を通り、留学生にとっては思い出深い日本での1日になったようです。お疲れ様でした。



2019年 KAHF 新春親睦パーティー 2019年1月13日（日）14:00～16:00

場所：京都市国際交流会館1階イベントホール

真冬とは思えぬ晴天に恵まれ、今年も賑やかに新春親睦パーティーが開催されました。

今年は他の行事などと重なり参加者が例年より少なくなりましたが、留学生30名、B/S2名、ファミリー40名、計約72名の参加が有りました。

谷垣代表の開会挨拶の後、留学生のお母様でプロの演奏家、周楓様が古箏（21弦）の素晴らしい演奏を披露して下さいました。その後会食、歓談。子供お年玉の後には、留学生へのお年玉タイムも有りました。品物をご寄付下さったファミリーの皆様、有難うございました。



凧揚げ大会 2019年3月3日（日）

3月3日、凧揚げにも関わらず今日は雨の予報で人は来ないなあと思っていたら、近所の子供達の飛び入りもあり、HF、B/S、留学生、子供、合わせて18名が集まって賑やかに凧作りができました。

作ったらあげたくなるのは当然ですね。ということで出町柳まで行き、時雨れている中凧揚げをしてみました。

ぐんぐんとはいきませんが、それなりに凧を上げることができ、みんな大喜びの様子でした。来年は晴れて欲しいな。



ベトナムに戻ってきてから、間もなく3ヶ月が過ぎました。自分が京都で留学生として過ごした一年間はまるで夢のようです。この一年間、最初の温泉、最初の寮生活、最初の新幹線など、様々な「最初」ができました。しかしこの私にとって一番貴重な「最初」はホストファミリーでした。

22年間ベトナム国境を越えて、外国に足を踏んだことのない私には、留学すれば心配事が多くて当たり前です。うちの家族も準備中の期間に、うるさいといってもいいほど日本に行ったらこうやれ、そうやれ、いろいろ注意してくれました。私が飛行機に乗って日本に向ける夜、祖母と母は眠れませんでした。こういうように守られすぎて育てられた私は、家族が大変大きな役割を果たしています。家族がそばにいなかったらどうしようと。一人で何ができるのかわくわくしながら、心配も抱えて日本につきました。

寮のメールボックスを開けて、初めて見つけたのはゆうちょ銀行のお知らせとKAHFの募集チラシでした。日本でもホストファミリーが作れるのか。1年間という私の留学期間は短すぎますので、ホストファミリーを作る資格があるのか。どうせできそうにないだろうと思いつつも申し込んでみました。

そして、10月の半ばごろにバラさんのメールが届きました。「この瞬間から日本の家族ができた！」と当日の興奮をよく覚えています。最初の打ち合わせの前に電車の乗り方、当日のプランなどを教えてもらった私は、自分がどんなに歓迎されるのか分かりました。バラさんとタカコさんのような、まったく知り合わない人を受け入れるKAHFの各メンバーが、勇気がどんなにあることかと、ずっとその時から感動しました。

ホストファミリーがあるということは、日本文化をより深く理解するチャンスが与えられるということです。日本人の家族にどのようなものが飾られるのか、どのような料理が作れるのか、どのような伝統があるのか、バラさんとタカコさんの所で、様々なことを目にして、耳にしました。さらに、自分もその一部になったような感じもしました。その所で、おせち料理を食べたり、クラシック音楽を聞いたり、抹茶を作ったりしました。また、ホストファミリーに日本はこういうもの、こういう町があるよというのも紹介して、案内してもらいました。初めてグラスで有名な商店街、ひな人形を見ながらぜんざいをたべれる所、鳥で魚をとる行事を知りました。

ホストファミリーがあるというのも、感心されて、心配されるということです。長い時間散歩したら「大丈夫か。ちょっと休もうか」と聞かれるような小さいことから、将来卒業後の進路についてアドバイスされるような大したことまで。大学で課題が多くて大変で、死にそうになった時があっても、その週末にバラさんとタカコさんに会って、困難を語って、慰めてもらいました。だんだんホストファミリーという所は、自分が疲れた時に帰れる場所だと思えるようになってきました。

気づいていないうちに一年間が過ぎました。別れる瞬間に「一期一会」ということわざを深く実感できました。再会の日はいつ来るのか。帰国して、予想通りに忙しくなって、日本語能力もだんだん衰えていきましたが、日本にファミリーがあるよということを、いつでも感じています。メールだけで抱きしめることなんかできませんが、国境を超える絆が続けられます。またお会いしましょう。

KAHFの皆様、いろいろありがとうございました。

陳 好芳 (台湾)

私は台湾からの留学生です。京都大学大学院農学研究科に2年在学し、今春日本企業に就職しました。

私は小さい時から日本にあこがれていました。修士課程へは日本で進学し、最初のキャリアも日本で始めることにしました。日本語が出来、日本で勉強すれば有利になるだろうと思っていましたが、日本での求職は思っていたほど簡単ではありませんでした。

まずは言葉の問題です。台湾である程度日本語を学んでいたとはいえ、京都大学の課程はすべて英語課程だった上に普段は実験に追われ、日本語のレベルを上げる時間がほとんどありませんでした。したがって履歴書を書いたり面接の準備を始めたときはしばしば挫折感に見舞われました。何から手を付けたらいいかわかりませんでした。幸いなことに研究室の先輩がいろいろ教えてくれたり、日本人の友人に文法や用法の問題を助けてもらったり、更にはネットで先輩たちの書いた履歴書の様式や慣用句などを調べ、少なからぬ時間をかけてやっと履歴書を書き上げ面接の機会を獲得しました。

もう一つは求職文化の問題です。小さい時から台湾で育ち、仕事の経験もなく、その上日本の求職文化が台湾とかなり異なっていて求職を始めたとき情報の獲得が大変難しく一度は日本での就職を諦めかけました。その違いは、例えば台湾では就職活動は一年を通じて行われていて、多くの学生は卒業してから仕事を探し始めます。しかし日本ではほとんどの学生が在学中（卒業の一年前）から始めます。ほかにも台湾の会社では面接が三次までであるというようなことはほとんどありませんが日本ではこれは日常茶飯事です。このような違いに適応するのに少し時間がかかりました。幸いなことに研究室の先輩が薦めてくれたいくつかの留学生支援団体、例えば **Kyotomorrow**（留学生が日本文化や日本の求職環境に慣れるのを専門に手伝ってくれる人が居ます）や同じように求職中の留学生と情報交換したり、お互いに励まし合い、求職期間の終わりごろやっと自分の理想の会社の仕事に就くことが出来ました。

それにしても、仕事を探し始めたときは、会社の種類が多くて、どのように会社と仕事を選ぶかを学ぶのに大変時間がかかりました。模索を重ね研究室の先輩の話を聞く中で自分の優れたところと興味とを基準に会社選びをしました。また、履歴書を書いたり面接の準備をしたりする過程で自分が本当にしたい仕事は何かということがより深く分かりました。

不慣れな外国での進学、適応、求職の過程の中で一人で多くの厳しい挑戦に立ち向かい時には疲れ切り自信を失い、止めようかと思ったこともあります。しかしこれらの困難と挫折を経て少し一人前に成長したような気がします。また私は周りの人たちの激励や支援に大変感謝しています。これらの人たちや団体の支えのお陰で、やみくもに行き当たりばったりというようなこともなく、順調に試練を乗り越え内定を貰うことが出来ました。

挫折を恐れず、仲間と方法を見つけ出し、皆で困難を克服しましょう。

★ホストファミリーよりコメント★

陳さんの投稿を読んで、彼女の就職活動が大変だったと痛感しました。昨年の5、6月ごろ就職活動がうまくいかないと聞きましたが、私にはどうすることもできず、ただ、話しを聞くだけでした。1つ内定がきまりホッと、それから1ヶ月後ぐらいだったと思いますが、行きたい会社から内定をもらい、一緒に喜んだことを覚えています。

これから日本の企業で働くことは大変だと思いますが、頑張ってください。

疲れたときは、何時でも羽を休めに京都の家に帰ってきてください。待っています。